



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ

上場取引所

東

コード番号 9997

URL <https://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長

(氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	52,185	2.7	1,244	△21.8	1,369	8.8	939	27.2
2026年3月期第1四半期	50,826	△1.1	1,591	62.0	1,258	△25.2	739	△25.7

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,826百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △518百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.77	—
2026年3月期第1四半期	7.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	344,397	151,067	43.8
2026年3月期	340,137	151,454	44.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 150,950百万円 2026年3月期 151,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	23.00	38.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		19.50	—	19.50	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	2.0	5,400	10.8	4,700	4.5	3,500	5.2	36.37
通期	221,000	1.3	17,500	6.2	16,500	1.4	12,000	4.0	124.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	97,244,472株	2026年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,002,035株	2026年3月期	1,002,035株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	96,242,437株	2026年3月期1Q	96,227,398株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。なお、訪日外客数は前年同期比で微減したものの、依然として高い水準を維持しました。一方で、食料品や生活用品などの価格上昇が継続しており、消費者の節約志向や選別消費の傾向は根強く、個人消費は依然として力強さに欠ける状況が続いております。また、地政学リスクの長期化や為替・金利の変動など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは8つのセグメントを今後の成長性・収益性の拡大を担う「グローバル領域」と安定した収益性・継続性・社会性を主眼においた「サステナブル領域」の2つにグルーピングをし、それぞれに適した経営資源の配分や事業展開を図っております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は52,185百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は1,244百万円（同21.8%減）となりました。経常利益は支払利息が増加した一方で、受取配当金の増加や支払手数料が減少したことなどにより1,369百万円（同8.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は939百万円（同27.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、㈱エルドラド及び㈱エイジング・ビーフにて行っている飲食店事業・ゴルフ場運営事業について、報告セグメントを「プロパティ事業」から「その他の事業」に変更しております。また、各報告セグメントに含まれていた㈱ベルーナ卸営業部に係る事業について、報告セグメントを「データベース活用事業」に区分を変更しております。以下の前期比較につきましては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔プロパティ事業〕

国内都市型ホテルにおいては、関西エリアのホテルが前年同期間に開催された大阪万博に伴う宿泊特需の反動によりRevPARが低下しましたが、北海道や東京エリアの高価格帯ホテルのRevPARが上昇したことや新規開業したホテルが売上に寄与したことなどにより増収となりました。一方で、関西エリアのホテルの売上減少による固定費比率の上昇や新規開業ホテルが収益基盤の確立途上にあることなどにより減益となりました。国内リゾート型ホテルにおいては、前年同期間に未取得であったホテル瑞鳳及び秋保グランドホテルの売上が寄与したことなどにより増収となりました。一方で、当該ホテルが閑散期にあたり営業損失を計上したことや取得にかかわる租税公課が発生したことなどにより減益となりました。この結果、売上高は10,228百万円（同23.9%増）となり、セグメント利益は537百万円（同35.4%減）となりました。

〔化粧品健康食品事業〕

化粧品通販事業においては、新規顧客の獲得数は前年同期比で増加したものの、新規購入者の定期継続率の低下や広告宣伝費の増加に加え、海外事業における在庫適正化に向けた施策により減収減益となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客の獲得件数及び獲得効率の改善が不十分であったものの、既存顧客の定期継続率は改善したため減収増益となりました。この結果、売上高は2,435百万円（同15.0%減）となり、セグメント損失は43百万円（前年同期は247百万円のセグメント利益）となりました。

〔グルメ事業〕

グルメ通販事業においては、食品単品及びギフトジャンルの売上が好調に推移した一方、積極的な広告宣伝を行ったことから増収減益となりました。ワイン通販事業においては、新規顧客の獲得が好調に推移し、増収増益となりました。この結果、売上高は6,557百万円（同6.4%増）となり、セグメント利益は57百万円（同47.3%増）となりました。

〔ナース関連事業〕

看護師向け通販事業においては、収益性を重視し一部販売経路における商品価格・サービスレベルの見直しやカタログ発行数量の抑制をしたため減収増益となりました。また、不採算事業であった看護師転職サイト「ナースキャリアネクスト」のサービスを2025年6月30日に終了したこともあり、売上高は3,607百万円（同0.9%減）となり、セグメント利益は226百万円（同1.4%増）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、不採算店舗の閉鎖に伴う既存店舗の減少や稼働顧客数の減少などにより減収となりました。一方で、販売単価上昇による利益率の改善により増益となりました。衣裳レンタル事業においては、卒業式袴レンタルの早期受注会に伴う前撮りの増加や獲得効率の向上により増収増益となりました。この結果、売上高は3,461百万円（同1.7%減）となり、セグメント損失は1,073百万円（前年同期は1,140百万円のセグメント損失）となりました。

〔アパレル・雑貨事業〕

アパレル・雑貨通販事業においては、円安の進行や原材料・資材価格の高騰及び紙・印刷価格の高止まりを受け、引き続き収益性を重視し紙媒体の発行数量を減らすなど広告宣伝費の抑制を図りました。あわせて、不採算事業であったインポートブランド品ECサイトのサービスを終了したことにより減収となりましたが収益性は改善いたしました。この結果、売上高は19,615百万円（同0.9%減）となり、セグメント利益は417百万円（同23.0%増）となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸売事業においては、当連結会計年度中の撤退に向け残務処理を行いました。旅行代理店事業においては、収益性を重視した事業展開を図ったため減収増益となりました。この結果、売上高は1,263百万円（同31.2%減）となり、セグメント利益は2百万円（前年同期は54百万円のセグメント損失）となりました。

〔データベース活用事業〕

封入・同送サービス事業においては、アパレル・雑貨通販事業におけるカタログ発行数の減少などに影響を受けないサービス展開を強化したものの減収減益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、物流サービス及びコールセンターサービスにおいて新規クライアントが順調に獲得できたことや既存クライアントの売上が拡大した一方で、人件費や物流コストが上昇したことなどにより増収減益となりました。ファイナンス事業においては、ネット経由の新規申込数が増加する中、ターゲットとする顧客層を効率的に獲得できたことにより貸付残高が計画通りに進捗したため増収増益となりました。この結果、売上高は5,403百万円（同6.3%増）となり、セグメント利益は1,119百万円（同1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比2,917百万円増加し、134,376百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,583百万円、商品及び製品が1,803百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比1,342百万円増加し、210,021百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が1,275百万円、投資有価証券が1,353百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比4,259百万円増加し、344,397百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比6,515百万円増加し、59,847百万円となりました。これは主に、未払法人税等が2,962百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,965百万円、契約負債が1,922百万円、短期借入金が5,854百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比1,868百万円減少し、133,483百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,599百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比4,647百万円増加し、193,330百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比387百万円減少し、151,067百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2026年5月13日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,531	36,114
受取手形及び売掛金	11,510	11,941
営業貸付金	37,755	38,396
有価証券	422	435
商品及び製品	23,564	25,367
原材料及び貯蔵品	1,492	920
販売用不動産	8,839	8,792
その他	14,497	13,558
貸倒引当金	△1,154	△1,149
流動資産合計	131,458	134,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,274	97,549
機械装置及び運搬具（純額）	6,607	6,419
工具、器具及び備品（純額）	2,233	2,157
土地	55,406	55,403
リース資産（純額）	3,475	3,338
建設仮勘定	8,845	8,636
有形固定資産合計	172,843	173,505
無形固定資産		
のれん	2,064	2,011
リース資産	446	401
その他	8,055	7,819
無形固定資産合計	10,566	10,231
投資その他の資産		
投資有価証券	16,231	17,584
長期貸付金	2,101	2,128
破産更生債権等	279	278
繰延税金資産	1,477	958
その他	5,966	6,127
貸倒引当金	△786	△793
投資その他の資産合計	25,269	26,283
固定資産合計	208,679	210,021
資産合計	340,137	344,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	10,247
電子記録債務	2,688	3,135
未払費用	12,904	12,055
短期借入金	18,655	24,510
リース債務	539	522
未払法人税等	3,598	635
契約負債	2,993	4,916
賞与引当金	1,091	590
店舗閉鎖損失引当金	15	15
その他	2,564	3,219
流動負債合計	53,332	59,847
固定負債		
長期借入金	127,178	125,578
利息返還損失引当金	229	220
リース債務	3,664	3,539
退職給付に係る負債	120	18
役員退職慰労引当金	248	248
資産除去債務	1,090	1,089
修繕引当金	253	236
その他	2,566	2,551
固定負債合計	135,351	133,483
負債合計	188,683	193,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	11,378	11,378
利益剰余金	127,659	126,386
自己株式	△782	△782
株主資本合計	148,868	147,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,399	4,230
繰延ヘッジ損益	△124	203
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△864	△1,201
退職給付に係る調整累計額	71	131
その他の包括利益累計額合計	2,474	3,356
非支配株主持分	111	116
純資産合計	151,454	151,067
負債純資産合計	340,137	344,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	50,826	52,185
売上原価	19,178	19,000
売上総利益	31,647	33,184
販売費及び一般管理費	30,056	31,940
営業利益	1,591	1,244
営業外収益		
受取配当金	127	259
為替差益	174	116
その他	307	563
営業外収益合計	609	939
営業外費用		
支払利息	287	493
支払手数料	531	283
店舗閉鎖損失	72	19
その他	50	18
営業外費用合計	942	814
経常利益	1,258	1,369
特別利益		
投資有価証券売却益	-	84
特別利益合計	-	84
特別損失		
固定資産除却損	1	10
減損損失	-	4
特別損失合計	1	15
税金等調整前四半期純利益	1,257	1,439
法人税、住民税及び事業税	440	385
法人税等調整額	66	110
法人税等合計	506	496
四半期純利益	750	943
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	739	939

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	750	943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	478	831
繰延ヘッジ損益	△213	328
為替換算調整勘定	△1,513	△336
退職給付に係る調整額	△21	60
その他の包括利益合計	△1,269	882
四半期包括利益	△518	1,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△524	1,822
非支配株主に係る四半期包括利益	5	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	グロース領域				サステナブル領域			データ ベース 活用 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	呉服関連 事業	アパレル ・雑貨 事業	その他の 事業			
売上高										
外部顧客への売上高	8,102	2,864	6,068	3,640	3,490	19,765	1,830	5,063	—	50,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	0	93	0	31	31	7	19	△332	—
計	8,253	2,864	6,161	3,640	3,521	19,797	1,838	5,082	△332	50,826
セグメント利益(又は セグメント損失△)	831	247	39	223	△1,140	339	△54	1,134	△28	1,591

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳72百万円とのれん償却費△101百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	グロース領域				サステナブル領域			データ ベース 活用 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	呉服関連 事業	アパレル ・雑貨 事業	その他の 事業			
売上高										
外部顧客への売上高	10,030	2,435	6,465	3,607	3,428	19,594	1,240	5,383	—	52,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	198	0	92	0	32	21	23	19	△388	—
計	10,228	2,435	6,557	3,607	3,461	19,615	1,263	5,403	△388	52,185
セグメント利益(又は セグメント損失△)	537	△43	57	226	△1,073	417	2	1,119	1	1,244

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳86百万円とのれん償却費△84百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、(株)エルドラド及び(株)エイジング・ビーフにて行っている飲食店事業・ゴルフ場運営事業について、報告セグメントを「プロパティ事業」から「その他の事業」に区分を変更しております。また、各報告セグメントに含まれていた(株)ベルーナ卸営業部に係る事業について、報告セグメントを「データベース活用事業」に区分を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,706百万円	1,922百万円
のれんの償却額	101	84